

## 0. はじめに

グローバルリーダーシップ研究所では、国内外の教育・研究機関と連携して、グローバルな視点を持って活躍する女性リーダー育成に必要な教育方法の開発とカリキュラムの策定、及び実践を行い、学術的かつ学際的なジェンダー研究を推進するとともに、日本及びアジア・欧米におけるネットワークの拡大強化を目的としています。このような事業を通して、リーダーシップ研究、女性リーダーの育成、男女共同参画社会の実現のための国際的な教育研究拠点を構築することを目指しています。本年度は、これまでの取り組みに加え、新たな事業にも積極的に取り組んでまいりました。その一つに本報告書にまとめた本学の協定校であるコッレージョ・ヌオーヴォ(イタリア)での両大学の学生の交流及び体験を通じた、近年ヨーロッパを中心にリーダーシップにとって重要であるとされるソフトスキルについての理解を深め、身に着けることを目的としたプログラムがあります。

このプログラムは、キャリアデザインプログラムの応用科目として位置づけられ、2019年7月に実施されたサマープログラム及び前期・後期に開講された事前授業、そして2月のコッレージョでの研修という1年間をとおして学びを深めるという構成になっています。

本学からは10名、コッレージョからは5～10名の学生が参加しました。

プログラムはすべて英語で行われ、本学での授業ではソフトスキルに関する理解を深め、コッレージョでは自己啓発、プレゼンテーションスキルなどについて実践をとおして学ぶという構成になっています。それらに加えて、コッレージョ・ヌオーヴォ学生との交流活動によって女子学生ネットワークを構築し、グローバル女性リーダーとしての第一歩を踏み出すことを目指しています。

コッレージョにおける研修は、イタリアにおける新型コロナウイルスによる感染の急激な拡大に伴い、学生及び引率教員2名は研修半ばで帰国せざるを得なくなるという大変残念な結果となりました。しかし、この報告書からは、学生たちがこのプログラムをとおして自分自身でリーダー、リーダーシップについて深く考え、学んだことが理解され、本プログラムの目的は十分に達成されたと思われます。

本プログラム実施にあたり、多大なるご尽力をくださったコッレージョ・ヌオーヴォの Paola Bernardi 学長、講義を担当してくださった Caterina Farao 先生、親身になって学生のお世話をしてくださったコッレージョのスタッフの皆さま、パヴィア大学の Anna Malacrida 教授ほか学生たちをあたたかく迎えてくださった皆さまに心からの感謝を申し上げます。

最後に、プログラムの立案、学生募集、授業の担当、引率それらのすべてのプロセスに意欲的にそして常に学生のために親身にそして真摯に取り組んでくださった、松田デレク講師、岡村利恵特任講師、長塚尚子特任 AF、鈴木芽以 AF にもこの場をお借りして感謝申し上げます。

グローバル女性リーダー育成研究機構長  
理事・副学長 佐々木 泰子